

令和4年度

事業計画書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人 全日本空手道連盟

事業報告

目次

1. 基本方針	1
2. 計画	1
(1) 空手道の普及奨励	1
(2) 空手道の指導者の養成	1
(3) 空手道に関する調査及び研究	1
(4) 大会及び講習会等の開催	1
(5) 空手道の段位の授与	1
(6) 刊行物の発行	2
(7) その他目的を達成するために必要な事業	2
1) ナショナルチーム事業	2
ア. 選手強化事業並びに海外派遣事業	2
イ. アンチ・ドーピング推進活動(医科学関係事業)	2
2) 海外交流事業	2
3) 広報対策	2
3. 事業概要	
(1) (公1)国内大会	3
(2) (公1)ナショナルチーム事業	4
1) 国内合宿	4
ア. シニア合宿	4
イ. カデット・ジュニア合宿	4
2) アンチ・ドーピング推進事業	5
3) その他選手強化事業	5
ア. 強化選手選考会	5
イ. 選手の資質向上のための講習会	5
(3) (公1)研修会・講習会の開催	6
1) 資格審査員研修会の開催	6
2) 公益財団法人日本スポーツ協会 公認スポーツ指導者(空手道)講習会等の開催	6
3) 流派別形講習会の開催	7

4) 学校武道のための指導者講習会の開催	7
5) 指導者の育成と競技力向上のための事業	7
(4) (公1)資格審査会の開催	8
1) 公認段位審査会	8
2) 公認審判員審査会	8
3) 公認称号審査会	8
(5) (公1)刊行事業	9
1) 「ナイスカラテライフ」の発行・配布	9
(6) (公1)空手道教室事業	9
1) 小学生の部	9
2) 中学生以上の部	9
(7) (公1)海外交流	10
(8) (公1)海外派遣	11
1) 国際大会へのナショナルチーム派遣	11
(9) (収1)収益事業	12
1) 頒布品	12
2) 日本空手道会館貸館・空手マット貸出	12
3) 検定監修事業	12
(10) (他1)その他実施する事業	13
1) カップの寄贈	13
2) 調査研究事業	13
3) アスリート・指導者セカンドキャリア助成事業	13

1. 基本方針

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な場面でスポーツの機会が奪われ、日常の平穏な生活がいかに大切か考えさせされる一年であった。

新型コロナウイルスの影響により、東京オリンピックは1年延期となり、その開催も危ぶまれたがI O C会長のバッハ氏や東京都組織委員会のリーダーシップの下、無事全日程を終えた。中でも追加種目として初めてオリンピックに採用された空手競技は8月5日(木)から7日(土)の3日間開催され、無観客試合ではあったが日本チームは金1、銀1、銅1のメダルを獲得し、日本中に感動を与えた。

全日本空手道連盟では「空手道—いつでも、だれでも、どこでも—」をテーマに、中長期的に「学校体育としての空手道の普及」を掲げ様々な施策を展開し、空手道の普及、会員制度の普及に努める。また、新型コロナウイルス対策ガイドラインを適宜見直し、新型コロナウイルスに対し十分な対策を行った状況で各事業を実施していく。

2. 計画

(1) 空手道の普及奨励

空手道を愛好し、また空手道の素晴らしさを理解してくれる人を多く求めるために、都道府県連盟を中心とした各地区協議会・競技団体及び協力団体との密接な連携により、充実した内容のある競技会、審査会並びに研修会を実施し、地域社会に役立つ活気ある本連盟の構築を目指す。各事業の中心になっている日本空手道会館を有効に生かし未来への継続を確かなものにしていく。

(2) 空手道の指導者の養成

武道とスポーツ両面から、優れた指導者の育成と資質の向上を図るため、資格取得審査会及び研修会等々を開催し、さらにはその活用と活動の促進を図る。

(3) 空手道に関する調査および研究

空手道の歴史・伝統・文化に関する調査・研究を行い、資料として全日本空手道連盟に保存していく。

(4) 大会および講習会等の開催

生涯空手道の普及を目指し、各種大会を実施する。また、空手道の技術と伝統を継承するための形講習会や、審判技術の向上などを図る講習会など、各種講習会も実施していく。広く公認指導者の育成ならびに質的向上に努める国内及び世界の競技会において厳正にして正確な判定のできる高い技術と権威ある審判員を育成するための、講習会・審査会を開催し、空手は一つ・ルールは一つというスローガンのもとにWKFルール改正に対応していく。

(5) 空手道の段位の授与

空手道の伝統技術の継承のために、級位・段位の授与を行う。また、空手道の普及発展に顕著な功績のあった者に対し名誉段位等を授与し、指導者として斯道に功績顕著な者に対し称号を授与する。

(6) 刊行物の発行

本連盟の事業活動に関する情報・資料を集約し、JKFホームページなどを通じて会員の広範な理解と関心の増進のための広報活動を積極的に展開する。また、機関誌「ナイスカラテライフ」を発行し、連盟の事業内容、活動の状況、加盟団体や協力団体の情報を広く一般に提供し、会員の修練や指導に役立て空手道の発展振興を推進する。同誌に中学校向け情報「あゆみ」を掲載し、空手道をよりやさしく、楽しく役立つ誌面となるよう心がけ、教育現場に直接に渡るように配慮し、空手道の普及振興に役立てる。

(7) その他目的を達成するため必要な事業

1) ナショナルチーム事業

ア. 選手強化事業並びに海外派遣事業

空手道母国日本として常に国際的競技力を高める為、シニアクラスは勿論、ジュニア層の育成と強化向上を目指し、少年期から一環した強化対策を確立する。国際大会にも積極的に参加させ、試合経験を積ませる。

イ. アンチ・ドーピング推進活動（医科学関係事業）

アンチ・ドーピング機構の支援のもと、競技会並びに検査プログラムに対応できるようナショナルチーム強化選手に徹底を図り、正確な知識の習得を促進させる。

また、アンチ・ドーピング委員の中から医科学関係分野の委員を育成し、また、選手強化委員会とも連携し、講習会の開催並びに資格取得を推進し、強化選手はもちろん幅広い世代に、健康増進と指導者の専門的知識の習得を図る。

一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構を通じてドーピング検査を年1回行う予定である。

2) 海外交流事業

空手競技が恒久的にオリンピック種目として採用されるよう、機会がある毎に活動していく。その為にはまずアジア空手道連盟（AKF）の一員として積極的にその役割を果たし、世界の空手道の普及と振興に努める。

世界の国々で必要とされる技術の向上や組織の充実などできる限りの支援を行い、国際競技会及び講習会には積極的に招聘に応じ選手や技術者を派遣する。

3) 広報対策

東京2020空手競技の成功を受け、空手道の世界的な認知度アップを目標に、従来の広報活動にスポーツ庁の「スポーツ団体経営力強化推進事業」により専門知識を有する外部人材の知見を活用し、メディア対応・マーケティング戦略の強化充実、SDGsへの取り組みなど、幅広い広報活動に取り組む。

3. 事業概要

(1) (公1)国内大会

開催日	大会名	開催地	開催場所	参加人員等	摘要
4/16	第2回空手Family演武会	東京都	日本空手道会館	50組 (オンラインのみ)	自主事業
6/4	第18回全日本パラ空手道競技大会	東京都	東京武道館	参加選手 200名	(公財)スポーツ安全協会助成事業
8/17~20	第49回全国高等学校空手道選手権大会	愛媛県	伊予三島運動公園体育館	参加選手 850名	高体連と共催
6/11~12	第1回全日本空手道体重別選手権大会	群馬県	高崎アリーナ	参加選手 470名	自主事業
8/10~11	第22回全日本少年少女空手道選手権大会	東京都	武蔵野の森総合スポーツプラザ	参加選手 2,200名	自主事業
8/26~28	第30回全国中学生空手道選手権大会	鹿児島県	サンアリーナ せんだい	参加選手 1,200名	中学校連盟と共催
9/23~25	日本スポーツマスターズ2022空手道競技	岩手県	岩手県営武道館	参加人数 47都道府県 延650名	(公財)日本スポーツ協会委託事業 日本スポーツ協会、岩手県、岩手県スポーツ協会等と共催
10/2~4	第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)空手道競技会	栃木県	栃木県立県南体育館	参加人数 47都道府県 414名	栃木県実行委員会委託事業 文部科学省、日本スポーツ協会、栃木県、小山市と共催
12/10	内閣総理大臣杯第50回全日本空手道選手権大会	東京都	東京武道館	参加選手 517名	スポーツ振興基金助成事業
12/11	天皇杯 皇后杯第50回全日本空手道選手権大会	東京都	日本武道館	参加選手 140名	スポーツ振興基金助成事業
12/17	第3回空手Family演武会	東京都	日本空手道会館	50組	自主事業
3/23~25	JOCジュニアオリンピックカップ第42回全国高等学校空手道選抜大会	福岡県	福岡市総合体育館	参加選手 1,100名	JOCジュニアオリンピックカップ 高体連と共催
2月未定	第2回全日本少年少女空手道選抜大会	未定	未定	参加選手 1,300名	自主事業
3月未定	JOCジュニアオリンピックカップ第17回全国中学生空手道選抜大会	京都府	未定	参加選手 1,128名	JOCジュニアオリンピックカップ 中学校連盟と共催
未定	令和4年度全日本少年少女武道(空手道)錬成大会	東京都	日本武道館	参加選手 3,000名	(公財)日本武道館と共催
未定	第1回全日本空手道団体形選手権大会	未定	未定	参加選手 100名	自主事業

(2) (公1)ナショナルチーム事業

1) 選手強化事業

ア. シニア合宿

開催日	合 宿 名	開催場所	参加人員等	摘 要
6/3～5	第1回シニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
7/1～3	第2回シニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
9/23～25	第3回シニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
11/4～6	第4回シニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 60名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業

イ. カデット・ジュニア合宿

開催日	合 宿 名	開催場所	参加人員等	摘 要
4/29～ 5/1	第1回ジュニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 90名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
8/5～7	第2回ジュニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 15名 選 手 38名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
10/26～ 29	第3回ジュニア合宿	日本空手道会館	スタッフ 18名 選 手 90名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業

2) アンチ・ドーピング推進事業

開催日	名 称	開催場所	参加人員等	摘 要
4月未定	アンチ・ドーピング 講習会	日本空手道会館	スタッフ 18名 選手 90名	ジュニア対象、第1回 ジュニア強化選手合宿 にて
6月未定	アンチ・ドーピング 講習会	日本空手道会館	スタッフ 18名 選手 60名	シニア対象、第1回オリ エンテーション合宿に て

3) その他選手強化事業

ア. 強化選手選考会

開催日	合 宿 名	開催場所	参加人員等	摘 要
未定	2023年度 シニア選考会	日本空手道会館	スタッフ 30名 選考会参加者200 名	(公財)日本オリンピック 委員会委託事業
4/1~3	2022年度 ジュニア選考会	日本空手道会館	スタッフ 30名 選考会参加者250 名	(公財) ミズノスポーツ 振興財団助成事業

イ. 選手の資質向上のための講習会

開催日	名 称	開催場所	参加人員等	摘 要
4月未定	インテグリティ 講習会 (ジュニア層向け)	日本空手道会館	スタッフ 18名 選手 90名	ジュニア対象、第1回 ジュニア強化選手合宿 にて
6月未定	インテグリティ 講習会(シニア向け)	日本空手道会館	スタッフ 18名 選手 60名	シニア対象、第1回オリ エンテーション合宿に て

(3) (公1)研修会・講習会の開催

1) 資格審査員研修会の開催

開催日	研修会・講習会	開催場所	参加人員等	摘要
9/3	令和4年度 1・2級資格審査員研修会	日本空手道会館	講師 4名 受講者 88名	自主事業
4月～	令和4年度 3級資格審査員研修会	各地区協議会	講師 数名 受講者 複数名	自主事業 各地区協議会主管

2) 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(空手道)講習会等の開催

開催日	研修会・講習会	開催場所	参加人員等	摘要
4月～	令和4年度 日本スポーツ協会公認コーチ1・ コーチ2更新研修会	各地区協議会内	受講者 50名～200名	各地区協議会主催
9/4	令和4年度 第1回日本スポーツ協会公認 コーチ3・コーチ4更新研修会	日本空手道会館	講師 4名 受講者 130名	自主事業
3/4	令和4年度 第2回日本スポーツ協会公認 コーチ3・コーチ4更新研修会	日本空手道会館	講師 4名 受講者 130名	自主事業
10/14～ 16	令和4年度 日本スポーツ協会公認コーチ3 養成専門科目講習会(前期)	日本空手道会館	講師 8名 受講者 70名	(公財)日本スポーツ 協会委託事業
1/13～15	令和4年度 日本スポーツ協会公認コーチ3 養成専門科目講習会(後期)	日本空手道会館	講師 8名 受講者 70名	(公財)日本スポーツ 協会委託事業
11/26～ 27	令和4年度 日本スポーツ協会公認 コーチ4養成専門科目講習会 (前期)	日本空手道会館	講師 7名 受講者 20名	(公財)日本スポーツ 協会委託事業
2/18～19	令和4年度 日本スポーツ協会公認 コーチ4養成専門科目講習会 (後期)	日本空手道会館	講師 7名 受講者 20名	(公財)日本スポーツ 協会委託事業

3) 流派別形講習会の開催

開催日	流 派	開催場所	参加人員等	摘 要
3月未定	和道流	日本空手道会館	講師（和道流）2名 受講者 100名	自主事業
3月未定	剛柔流	日本空手道会館	講師（剛柔流）2名 受講者 100名	自主事業
3月未定	松濤館流	日本空手道会館	講師（松濤館流）2名 受講者 100名	自主事業
3月未定	糸東流	日本空手道会館	講師（糸東流）2名 受講者 100名	自主事業

4) 学校武道のための指導者講習会の開催

開催日	行 事 名	開催場所	参加人員	摘 要
年3～4回	学校訪問プロジェクト	3～4か所	延200名ほど	スポーツ庁委託事業
8/16 ～8/18	第13回全国空手道 指導者研修会	日本空手道会館	講 師 12名 受講者 40名	日本武道館と共催
1/7～8	第1回学校空手道 実技指導者講習会	未定	参加人員30名	スポーツ庁委託事業
7月	第1回中学校武道授業（空手 道）指導法研究事業	日本武道館 大会議室	研究者 6名 研究協力者 5名	日本武道館と共催
11月	第2回中学校武道授業（空手 道）指導法研究事業	未定	研究者 6名 研究協力者 5名	日本武道館と共催

5) 指導者の育成と競技力向上のための事業

開 催 年月日	行 事 名	開 催 場 所	参加人員等	摘 要
5/7～8	全国形審判員養成講習会	日本空手道会館	講 師 5名 受講者 80名	自主事業
1/7～8	令和4年度 女性会員対象技術・審判講習会	日本空手道会館	講 師 9名 受講者(技術講習) 50名 (審判講習) 40名	自主事業
3/25～26	第2回学校空手道 実技指導者講習会	日本空手道会館	参加人員30名	スポーツ庁委託事業

(4) (公1)資格審査会の開催

1) 公認段位審査会

開催日	審査会名称	会場	備考
年度内	公認4・5段位審査会	各地区協議会内 実業団・高体連内	
5/21 11/12	公認6段位審査会	日本空手道会館 エディオンアリーナ大阪	
5/22 11/13	公認7段位審査会	日本空手道会館 エディオンアリーナ大阪	
5/22	公認8段位審査会	日本空手道会館	
未定	公認9段位審査会	日本空手道会館	
12/9	推薦段位審査会 (推薦4段位～8段位)	日本空手道会館	

2) 公認審判員審査会

開催日	審査会名称	会場	備考
4/9 ～4/10 4/23 ～4/24	全国公認組手 審判員講習・審査会	(東京) 日本空手道会館 (大阪) エディオンアリーナ大阪	
7/2～3	全国公認形 審判員講習・審査会	日本空手道会館	
年度内	地区公認組手 審判員講習・審査会	各地区協議会内	各1回
年度内	地区公認形審判員 講習・審査会	各地区協議会内	各1回
年度内	全国公認組手審判員講習会	各地区協議会内	各1回
年度内	全国公認形審判員講習会	各地区協議会内	各1回

3) 公認称号審査会

開催日	審査会名称	会場	備考
12/9	公認範士審査会	日本空手道会館 会議室	
12/9	公認教士審査会	日本空手道会館 会議室	
12/9	公認錬士審査会	日本空手道会館 会議室	

(5) (公1)刊行事業

1) 「ナイスカラテライフ」の発行・配布

発行回数	年2回
発行部数	合計90,000部
配布先	会員、各都道府県連盟、地区協議会、競技団体、協力団体 武道団体、文部科学省等官公庁団体、教育委員会
その他	全国の中学校、政令指定都市教育委員会、その他 自主事業（助成金は受けていない）

(6) (公1)空手道教室事業

1) 小学生の部

練習日	毎週月曜日・木曜日	17:30～18:30
人数		30名

2) 中学生以上の部

練習日	毎週月曜日・木曜日	19:00～20:00
人数		10名

(7) (公1)海外交流

世界空手連盟（WKF）、アジア空手連盟（AKF）、及び東アジア空手道連盟（EAKF）のリーダー的役割であることを認識し、各国の諸会議に代表役員を派遣し、空手道の普遍的な発展と振興を推進する。

また、国際競技会や研修会等の事業に積極的に参加して、国際親善を通じて、人類の平和と繁栄のための空手道の確立に寄与し、世界の空手道の主導的中心的な立場を自覚して、空手道の正確で高い技術の修得と普及のため、海外の競技会及び研修会に選手・役員並びに技術指導者を積極的に派遣する。

恒久的に空手道がオリンピック種目になるために、WKF及びAKFの強い連携を促すものとなり、国際オリンピック委員会（IOC）及び日本オリンピック委員会（JOC）の厚い信頼関係と協力をもとにこれからも積極的に促進運動を行ない、実現に向けて最大の努力をするとともに、わが国の空手道が正統かつ伝統的技術をもって世界の空手道の発展に協力し、空手道が競技化の方向を主体として推進する中で、空手道のもつ精神の意義を自らの姿勢で主張し、武道性を失わないよう理解を求めていく。

いまや世界200に近い国と地域に普及・発展を遂げた空手道であるが、これからも海外からの招聘に誠意を持って派遣し、もって国際親善に寄与するものとする。そのため、必要に応じて適材な指導者を派遣できる体制を整備する。

(8) (公1)海外派遣

1) 国際大会へのナショナルチーム派遣

開催年月日	大会名	開催地	開催場所	参加人員等	摘要
4/15~17	プレミアリーグ2022	ポルトガル・リスボン	未定	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
5/12-15	第20回アジアカデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会	中国・洛陽	未定	日本選手団52名	アジア空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
6/10-12	シリーズA2022	エジプト・カイロ	未定	スタッフ3名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
7/8-9	ワールドゲームズ	アメリカ合衆国・バーミンガム	未定	日本選手3名 スタッフ未定	国際ワールドゲームズ協会/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
9/2-4	プレミアリーグ2022	アゼルバイジャン・バク	未定	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
9/11-13	アジア競技大会	中国・杭州	臨平スポーツセンター体育館	日本選手団未定	アジア・オリンピック評議会/ (公財)日本オリンピック委員会派遣事業
10/7-9	プレミアリーグ2022	ロシア・モスクワ	未定	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
10/26-30	第12回世界カデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会	トルコ・コンヤ	未定	日本選手団50名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
11/11-13	シリーズA2022	中国・杭州	未定	スタッフ3名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
11/24-27	第18回アジアシニア空手道選手権大会	中国・香港	未定	日本選手団42名	アジア空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
1月未定	シリーズA2023	オーストラリア・ザルツブルグ	未定	スタッフ3名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
2月未定	プレミアリーグ2023	アラブ首長国連邦・ドバイ	未定	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業
3月未定	プレミアリーグ2023	モロッコ・ラバト	未定	日本選手団32名	世界空手連盟/ (公財)日本オリンピック委員会委託事業

(9) (収1)収益事業

1) 頒布品

以下の物品の頒布を行う。

公認審判員ワイシャツ

公認審判員ズボン

JKFネクタイ

公認審判員ブレザー

公認審判員シューズ

JKFジャージ

空手競技規定

空手道教範

空手道形教範(基本形、第一指定形、第二指定形)

DVD・Blue-ray(基本形、第一指定形、第二指定形)

JKFバッジ

JKFエンブレム

空手道手帳

JKF扇子

4・5段者用バッジ

高段者用バッジ

級位免状

2) 日本空手道会館貸館・空手マット貸出

希望する団体へ、日本空手道会館の会議室、大・中道場、空手マットの貸し出しを行う。

3) 検定監修事業

空手マット、シンガード、インステップガード、
拳サポーター、メンホー、帯、ブレザーの検定監修を行う。

(10) (他1)その他実施する事業

1) カップの寄贈

全日本少年少女武道錬成(空手道)大会
全国高等学校総合体育大会(空手道)
全日本学生空手道選手権大会
全日本実業団空手道選手権大会
全国高等学校空手道選抜大会

2) 調査研究事業

空手道の歴史・伝統・文化に関する調査・研究を行い、資料として全日本空手道連盟に保存していく。

3) アスリート・指導者セカンドキャリア助成事業

アスリート・指導者のセカンドキャリアへの助成を行う。

助成対象者 2名